

第8回コンクリート技術交流会 プログラム

主催：日本コンクリート技術株式会社

1. 開催日時：平成30年11月2日（金） 10:00～18:00（9:30受付開始）

2. 開催場所：国際ファッションセンタービル 3階 KFCホール
（東京都墨田区横網一丁目6番1号 TEL 03-5610-5801）

3. プログラム：

10:00～10:05 開会の挨拶 長瀧 重義（東京工業大学名誉教授）

10:05～12:00 パネルディスカッション：

テーマ 『コンクリート工場の生産性向上に向けた施工性の改善提案』

[概要] 国土交通省は建設工事における生産性向上と魅力ある工事現場の実現を目指して **i-Construction** を推進しており、コンクリート構造物の施工における生産性向上はその中心的な課題のひとつとなっています。ここでは、コンクリート工事における施工性改善やプレキャストコンクリート製品の活用促進の観点から有識者をパネリストに迎えて活発な議論を行い、現場に有益となる情報を提供します。

コーディネーター：本間 淳史（東日本高速道路）

パネリストおよび話題提供：

- 渡辺 博志（土木研究所） 『コンクリートの生産性向上に向けた取り組み』
- 橋詰 幸信（大成建設） 『i-Construction に沿った現場打ちコンクリート工生産性向上への一提案』
- 岡本 大（鉄道総研） 『鉄道事業における生産性向上の取り組み』
- 中積 健一（三井住友建設） 『橋梁工事で取り組んできたPCa化による生産性向上事例と考察』
- 河野 一徳（日本コンクリート技術） 『PCa埋設型枠の「活用」に関する一提案』

13:20～16:30 パネル展示（出展社によるプレゼンテーションと展示ブースにおける個別説明）

[内容] 出展各社が保有するコンクリートの現場施工に役立つ製品や技術に関して、参加者に最新情報の収集と情報交換を行う場を提供します。各出展社が持ち時間8分で対象技術のプレゼンテーションを行った後、会場内に設けた各社の展示ブースに分かれて個別に詳細説明や質疑応答を行う方法で実施します。

16:40～17:50 特別講演 『日本のプレストレストコンクリートが持続可能であるためには』

講演者：春日 昭夫（三井住友建設 執行役員副社長）

講演内容：日本にプレストレストコンクリート（PC）技術が導入されて60年以上になりますが、今後の日本のPC技術の持続可能性を考えたとき、何が課題となり、それらをどのように克服して展開していったらよいのかをテーマに論じます。

18:00～20:00 意見交換会 KFCホール「ホワイエ」にて

■パネル展示：出展社と出展内容

No	出展社(50音順)	出展内容
1	愛知製鋼	ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」はコンクリート構造物の長寿命化、メンテナンス低減に貢献します。
2	アストン	コンクリートの躯体防水あるいは耐久性向上に貢献する「CS-21シリーズ」製品群
3	安藤・間	トンネル覆工コンクリートのひび割れを効率的に経済的に抑制し、また、安定した表層品質のコンクリートを提供いたします。
4	KSK	3次元データを使用した構造物の「記録」「出来形管理」「維持管理」「施工計画」
5	コンステック	正しい診断 たしかな施工を一歩先へ
6	太平洋セメント	太平洋セメントは、これまでに培ってきた技術力と自由な発想で時代のニーズを先取りし、安全・安心な社会のミライを目指して、これからも挑戦を続けます。
7	デンカ	できるをつくる。挑戦し続ける「デンカの新技术」
8	ニチバン	コンクリート構造物のひび割れを補修する低圧注入工法について。補修材注入の際にひび割れ表面の目止めを行うシール材の代替となるシールテープ『せこたん TM』
9	フローリック	未来をカタチに変える創造力
10	前田工織	トンネルの覆工コンクリート；条件によって使い分けるはく落防止工法
11	前田製管	小規模橋梁をPCaボックスカルバートへ。橋梁長寿命化修繕等のインフラ老朽化対策に、弊社のPCaボックスカルバートで良質なインフラ整備を提供いたします。

■会場および交通手段

